

# 令和3年度事業報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団

JMCE

## 【はじめに】

当財団は、日本音楽の海外進出のハブとなるべく、本年度も18回目を迎えた「東京国際ミュージック・マーケット (TIMM)」と、BtoB機能を有するアニソンサイト「JAPAN ANIME MUSIC LAB. (JAMLAB.)」を中心に事業を展開してきた。

その18thTIMMは、前年より続く新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響を受け本年度もオンライン開催となったが、実施に際しては、昨年度新設したビジネスマッチングサイト「TIMMONLINE」の利便性を更に高めるべく、AIによる自動翻訳機能の実装や参加者の検索機能の強化等を行うと共に、アーティストPRページを一般にも公開するなど、日本音楽のBtoB&Cサイトとして様々な改修を行った。

また本年度は、会期終了後のサイトへのアクセスが落ち着く時期に再度商談等の活性化を図るべく、参加者からの要望の高いショーケースライブと個別商談会から成る「TIMMショーケースライブシリーズ」を2022年1月に追撃施策として実施した。

「JAMLAB.」は、平成30年2月のサービス開始以降、令和4年3月末時点の参加企業が20社、海外からのビジネス目的登録者は564名となり、海外向けBtoBサイトとして着実に軌道に乗ってきている。

ストーリーミングの定着により、海外の音楽市場はポジティブに変化を続けている。これまでマネタイズに難航してきたアジアや南米などからの収益はもちろんの事、ライブなど興行面でのプロモーションにおいてもストーリーミングは重要なツールとなっており、当財団では日本音楽の海外進出をサポートするべく、引き続き上記2本柱の施策を中心に積極的に事業に取り組んでいく。

## 【主要事業】

### 1. 実施事業 (公益目的支出 対象事業)

#### (1) 「第18回東京国際ミュージック・マーケット(18thTIMM)」の開催

※定款第4条(4)

日本音楽の海外進出を支援する国際見本市として、令和3年11月1日から3日間、特設サイト「TIMM ONLINE」にて18thTIMMを開催した。本マーケットは、「海外バイヤー等との商談会、マッチングイベント」、「海外進出等をテーマとしたビジネスセミナーの開催」、及び「海外バイヤーに直接パフォーマンスをプレゼンできるショーケースライブの開催」を柱に実施しており、今年度も経済産業省、及びVIPOとの共催事業として開催した。

なお、出展者、及び海外バイヤーはコア日となる11月1日～3日以降も商談機能の利用やセミナー、ライブ等のアーカイブ視聴が可能にて、中長期でのビジネス展開もサポートしている。

実施内容の詳細、結果等は以下の通り。

## ○実施概要

名称： 第18回東京国際ミュージック・マーケット（18thTIMM）/TIMM ONLINE

日程： 令和3年11月1日（月）～3日（水・祝）

会場： [個別商談会／セミナー／ライブ配信] TIMM ONLINE サイト（11/1～3）

※ライブは海外・一般向けにYouTubeでも無料配信

[ショーケースライブ] Veats Shibuya（11/1～3）

主催： 経済産業省、特定非営利活動法人 映像産業振興機構、

一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団

後援： 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会、一般社団法人 私的録音補償金管理協会、

一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽出版社協会、

一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本貿易振興機構、

一般社団法人 日本レコード協会（50音順）

来場者数：（左・コア日11/1～3 / 右・11月30日までの累計数 ※数字はのべ数）

○期間中総来場者数：19,080名／34,549名

（内訳） ・TIMM ONLINE（ビジネスエリア）来場者数：5,309名／20,778名

・ライブ視聴者数：合計14,219名／14,277名（YouTube 13,771・TIMM サイト 448）

・セミナー視聴者数：1,816名／2,168名

・出展数：21社・団体（掲載アーティスト数250組）

・海外バイヤー登録数：227名／231名～36ヶ国・地域

## ○各パート別詳細

### <商談会、ネットワーキング>

出展者はTIMM ONLINE内に自社ページを持ち、ページ内で自社アーティスト等のプロモーションを、MV動画や自社紹介のプレゼンテーション動画も用いながら展開。担当者ページやバイヤーページにはメッセージの受送信機能を実装しており、出展者はバイヤーリストから選んだバイヤーに、バイヤーは出展者ページから興味のあるアーティスト、出展者へコンタクトが取れる仕様になっている。

なお、今年度は参加者の利便性の向上や商談の更なる活性化を図るべく様々な改修を行っており、主な改修点については以下の通り。

#### ・TIMM ONLINE サイト内の多言語翻訳

参加者間の商談・ネットワーキング時の言語の問題をサポートするべく、AIによる多言語翻訳機能を実装。これにより、主要言語については母国語等へ変換がなされ、海外関係者とのコンタクトを容易にした。

- ・参加バイヤー検索機能

これまでの、国・地域、職種・属性別等の検索に加え、ログイン中の参加者検索も可能となり、リアルタイムのネットワーキング、商談相手の検索も容易となった。特に欧米とは時差の関係から、オンラインイベント時のリアルタイムコミュニケーションが取りにくい事が課題となっていたが、これにより事前のミーティングブッキングが無い相手との「出会い」も可能となった。

- ・メッセージの一斉送信機能

これまで個別に送信する必要があった新着情報などのインフォメーションメッセージの発信に関し、一斉送信が可能となった。なお、送付先は、国・地域別などの絞り込みも可能。

- ・BtoB&C 対応

アーティスト情報ページは、これまで TIMM 参加者向けの BtoB コンテンツとして TIMM 参加者のみへの限定公開だったが、同ページは英語版の BtoC コンテンツとしても有効なツールであることから、アーティストページを一般にも公開し、海外向けのプロモーションツールとしても活用できるようにした。

- ・TOP ページの改修

ログイン後の TOP ページに新着情報の掲示やショーケースライブ出演アーティストページへのダイレクトリンクを追加し、利便性の向上を図った。

### <ビジネスセミナー>

日本音楽の海外展開を進める上で関心・注目度の高いテーマを抽出し、関係団体等と連携しながら 11 月 1 日（月）～3 日（水・祝）の 3 日間で 7 本のセミナーを公開。今年度は事前質問を募った上で生配信のセミナーを 2 本実施し、インタラクティブ性も強化した。

○11 月 1 日（月）（以下、敬称略）

①13：00～

<テーマ>音楽ビジネスを NFT でどう拡張するか

<モデレーター>鈴木貴歩（Parade All 株式会社 代表取締役）

<スピーカー>石田陽之（NFT ART&ASSETS 株式会社 代表取締役）、山口哲一（Studio ENTRE 株式会社 代表取締役、音楽プロデューサー/エンターテックエバンジェリスト）、鈴木雄大（Fracton Ventures 株式会社 Co-Founder）

②15：00～

<テーマ>中国における著作権使用料の徴収について

<共催>一般社団法人日本音楽出版社協会

<モデレーター>見上チャールズ一裕（MPA 理事/グローバルビジネス委員会委員長、株式会社ソニー・ミュージックパブリッシング代表取締役）

<スピーカー>Jonathan Ho (Fuji Pacific Music SE Asia)、Benjamin Ng (Regional Director for Asia-Pacific at CISAC)

③17:00~

<テーマ>ハリウッド Music Supervisors らに学ぶ! 第2弾! 映画・ドラマ、その他新しいメディアにおける音楽のシンクビジネスチャンスと最新事情

<共催>特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO)

<モデレーター>田端花子 (特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO) エグゼクティブ・ディレクター、ユーマ株式会社 取締役)

<スピーカー>Jonathan Mchugh (GMS (Guild of Music Supervisors) 創設者、理事/ Song Stew Films プレジデント)、Season Kent (ミュージック・スーパーバイザー)、Gwen Riley (Peloton Interactive Inc シニア・バイス・プレジデント)、Anita Nedeljkovic (Vice Media Group LLC 音楽部門長)

○11月2日(火)(以下、敬称略)

①14:00~

<テーマ>ストリーミングセカンドフェーズ~日本の音楽ストリーミングビジネスの現在地と展望

<モデレーター>河村剛志 (GKO 合同会社 代表)

<スピーカー>岡崎早苗 (ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社 マネジャー, Entertainment)、北山智之 (株式会社ソニー・ミュージックマーケティングユナイテッド 取締役)、野本 晶 (Merlin Japan 株式会社 General Manager)

②16:00~

<テーマ>Music Ally Japan in TIMM/フューチャー・トレンド ~音楽ビジネスを変える最新トレンドと未来予測 ~

<共催>Music Ally Japan

<モデレーター>ジェイ・コウガミ (デジタル音楽ジャーナリスト、Music Ally Japan)

<スピーカー>スチュアート・ドレッジ (Music Ally、音楽ジャーナリスト)

○11月3日(水・祝)(以下、敬称略)

①14:00~

<テーマ>City Pop のグローバル・ブームの現状とカタログの未来

●第一部

<モデレーター>みの (ミュージシャン/動画クリエイター)

<スピーカー>Night Tempo (韓国人プロデューサー/DJ)、Azzedine Fall (フランス人ミュージック・ジャーナリスト&インディペンデントA&R)

●第二部

<モデレーター>松永良平 (音楽ジャーナリスト)

<スピーカー>今井一成(株式会社ポニーキャニオン マーケティングクリエイティブ本部 執行役員本部長)、芦澤紀子 (スポティファイジャパン株式会社 コンテンツ統括)

②16:00～

<テーマ>オランダ×日本/アーティストコラボプロジェクトの中間報告～IMCJ X Dutch Music Export による取り組みの狙いと今後の展望

<共催>Independent Music Coalition Japan (IMCJ)

<モデレーター>山崎卓也 (Field-R 法律事務所 弁護士)

<スピーカー>Marcel Albers (DUTCH MUSIC EXPORT)、Kees van Weijen (STOMP)、Jochem Tromp (Soepermarkt Music Management & Publishing)、熊部太郎 (IMCJ 理事/日本音楽制作者連盟理事 グローバルビジネス PT 座長)、平田幸秀 (株式会社レインボーエンタテインメント 取締役)

<ビジネスプレゼンテーション>

3日間で以下16本の出展者や海外イベント主催者らのプレゼンテーション動画を公開した。

○海外バイヤー・イベント主催者プレゼン5本 (ABC順)

- ・Big Mountain Music Festival by Yuthana Boonorm (GMM Grammy)
- ・FOCUS WALES 2021 by Andy Jones (FOCUS Wales)
- ・Small World Music / Global Toronto by Jonathan Campbell
- ・Soundscape Records by Mak Wai Hoo (Malaysia)
- ・What is Fungjai - JETRO 2021 by Piyapong Muenprasertdee (Py) (Fungjai Co., Ltd.)

○出展者プレゼン11本 (ABC順)

avex group/BANDAI NAMCO Arts Inc. /DREAMUSIC Inc. /Independent Label Council Japan (ILCJ) /Independent Music Coalition Japan (IMCJ) /JAPAN MUSIC CULTURE EXPORT (JMCE) /JVCKENWOOD Victor Entertainment Corporation /MAGES.Inc /Nippon Columbia Co.,Ltd./Nipponophone/Teichiku Entertainment, Inc. /Tokyo School of Music & Dance

<ショーケースライブ>

○日程 11月1日(月)～3日(水・祝)

○会場 Veats Shibuya (新型コロナウイルス対応として、ファンの出入り待ちによる密集を回避するべく、開催場所を非公表とした無観客配信で実施)

○配信方法 TIMM ONLINEのビジネスエリア来場者向けにTIMM ONLINE内、及び国内外の一般視聴者向けにYouTubeでも配信

○出演者（出演順／3日間合計16組が出演）

11月1日（月）

告五人、Crispy Camera Club、Void\_Chords feat. LIIO、ヒグチアイ、dreamBoat

11月2日（火）

Zwei、H△G、煌めき☆アンフォレント、ときのそら、BiS

11月3日（水・祝）

シンガーズハイ、Helsinki Lambda Club、Bleecker Chrome、JiLL-Decoy association、YUC' e、  
DEPAPEPE

<TIMMショーケースライブシリーズ2022>

○ライブ収録日：2022年1月24日（月）／新宿区「キースタジオ」にてパフォーマンス収録

○ライブ配信日時：2022年1月24日（月）／22:00配信開始（海外参加者のデイトムに配信開始）

○配信方法：TIMMONLINE（18thTIMM参加者向け）

JMCE公式YouTubeチャンネル（国内外の一般ユー向け）

※アーカイブ映像はTIMMONLINE及び出演者の公式YouTubeチャンネルでも公開

○ライブ出演者（6組／出演順）：EASTOKLAB、The Muddies、TATEDUKA2000、Nagie Lane、  
花冷え。、CARTOON/YELLOCK

○個別商談会：2022年1月25日（火）・26日（水）13:30～18:30

・ライブ出演者側全6社（10名）、海外バイヤー5名が参加

・個別商談会はZOOMを使用し、1スロットあたり20分の商談・ネットワーキングを実施

## 2. その他事業(公益目的支出 対象外事業)

(1) アニソン情報検索サイト「JAPAN ANIME MUSIC LAB.」の運営

※定款第4条(2)

本サイトは平成30年2月5日にサービスを開始。令和4年3月末時点で20社が参加、564名の海外関係者が登録している。これまでサイト掲載アーティストに339件のコンタクト・問い合わせが寄せられており、引き続き内容を活性化させ、継続的な情報の拡散など広報の強化を図りながらアニソンBtoBサイトとして更なる充実を図っていく。

なお、本サイトは海外からのアクセスが約90%を占め、その国数は170ヶ国となっている。

サイト名称： Japan Anime Music Lab.（略称 JAMLAB.）

参加企業： 20社（令和4年3月末現在）

登録バイヤー： 564名（令和4年3月末現在）

(2) 公募助成、スカラシップ支援等

※定款第4条(2)(3)

本年度も全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、各国のイベント等が中止やオンライン開催になったことから、海外展開に関する施策の実施は見送らざるを得ない状況となった。次年度についても新型コロナウイルスの各国の状況が不透明ではあるが、引き続き検討を続けながら効果的な施策を実施していく。

(3) 内外交流事業

※定款第4条(5)

本事業についても上記(2)同様、新型コロナウイルスの感染拡大による他国イベントの中止等により、渡航を伴うアーティスト派遣や交流事業の実施を見送る事となった。その中で、海外オンラインイベントへのアーティスト出演(ライブ動画配信)斡旋は実施できており、次年度についても今後の新型コロナウイルスの各国の状況が不透明ではあるが、引き続き検討を続けながら効果的な施策を実施していく。

**【運営体制】**

1. 評議員会
2. 理事会
3. 三役会
4. 評議員選定委員会

以上